

# 第3回大阪府医師会 「メディカルカフェ」

大阪府民の方と直接意見を交わす貴重な機会として、大阪府医師会では「メディカルカフェ」を実施しています。3回目の開催となる同イベントを3月4日（土）に開催し、府民の方20人が参加されました。近隣のカフェの協力を得ながら、会議室を即席の「カフェ」にアレンジ。本会役員等と府民が「子育て」をテーマに話し合い、ともに考えました。



ケーキやコーヒーを楽しみながら意見交換

まず、情報提供として、川崎康寛先生（府医広報委員会副委員長）が、「子どもの成長発達と運動機能」について話されました。子どもには「正しい姿勢が必要」と訴え、全国ストップ・ザ・ロコモ協議会が作成した『こどもロコモ体操』の動画を視聴。参加者らとともに体を動かしました。



川崎先生（左）と佐野先生

引き続き、佐野博彦先生（同委員会委員）が「ほめることとスキンシップの必要性」に関して話題を提示されました。あわせて、生き方の工夫との観点から「マインドフルネス認知療法」を紹介されました。

講演後には、パネルディスカッションを行いました。矢野隆子・大平真司先生（いずれも大阪府医師会理事）が座長、私のほか川崎先生・佐野先生がパネリストを務め、自らの子育て経験を交え▽発達障害▽子どもの成長への不安▽子どものスマートフォン使用——などに関して、それぞれの見解を示されたほか、子育て全般について討論しました。



医師らによる  
パネルディス  
カッションを  
実施



その後、医師を囲んで2テーブルに分かれてグループトークを実施しました。ケーキやコーヒーを楽しみながら、約1時間にわたり自由に意見を交換しました。和やかな雰囲気の中、子どもの発育や体調に関する相談、医療機関を受診する際の素朴な疑問などが話題に挙がっていました。

参加者からは、「受診時にはなかなか聞けないことを相談できた」「身近に医師と接することができてよかった」など、好意的な感想が聞かれました。



広報担当役員がカフェ  
のマスターを務める

大阪府医師会では、今後も興味深い話題を取り上げ、対話を重視した「双方向性の広報活動」を進めていきたいと考えています。大阪府医師会の活動にご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

（報告：大阪府医師会広報担当理事 阪本 栄）